

**H27年度
国保料**

はじめて

市民運動突る 引き下げ実現！！

ついに当局が

国保料引き下げを提案

市民団体の粘り強い運動と、
共産党市議団の論戦がようやく実ることに。

61億円ものためこみに対し、
国保運営協議会で全委員が国保料を引き下げすべ
きと主張し、1月、当局が
一人当たり5381円の引
き下げを提案。2月議会で
正式に国保料引き下げが
決定します。

H27年度国保料引き下げ額

1世帯あたり	一人あたり
△7,793円 △4.42%	△5,381円 △5.03%

世帯ケースでは（年間）

所得70万円2人世帯	△5,000円
所得100万円2人世帯	△8,900円
所得200万円3人世帯	△18,000円
所得300万円4人世帯	△27,500円

引き下げには問題も

しかし、引き下げ額は重い負担軽減に
はほど遠い額です。

- 保険料7億5千万を引き下げとセット
で一般会計からの援助も同額減額。国
保は社会保障です。崩壊寸前の国保制
度を支えるために援助は不可欠です。
- 医療費大幅増を前提で試算
- 市民の暮らし圧迫より、国保会計の安
定的経営を優先
- 最高限度額が81万円から85万円に引き
上げ



引き続き国保料引き下げを

党市議団は重い負担軽減にむけ、今後も市民の
皆さんと力を合わせます。

- H27年度に続いてH28年度も引き下げをめざし
ます。

- 一般会計からの援助は、現行の20億円を復活さ
せます。

- 国保制度の広域化を許さず、減免制度を拡充さ
せます。

日本共産党静岡市議団ニュース

2015年2月No.2 国保特集

電話 054-254-2111 (内線 4541)
FAX 054-272-4695
メール yksf5@jcpss.jp
発行 日本共産党静岡市議会議員団

国保でお困りの方は共産党市議団にご相談ください